



# 6月給食だより

R6.6月  
宇城市学校給食センター

## 安全においしく給食を食べるために

食べることはごく当たり前のことで、「かんで飲み込む」という動作を意識しながら食べている人はあまりいないかもしれません。ですが、食べ物の形状によっては、よくかまずに飲み込んでしまうと窒息する危険性があります。給食を安全においしく食べるために、以下のことに気をつけましょう。



## ふるさとくまさんデーの取組

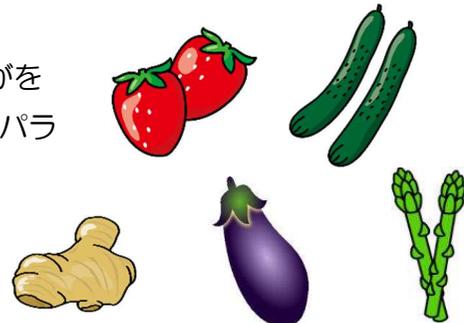


ふるさとくまさんデーとは、毎月19日の「食育の日」の前後に熊本県内の産物を使った料理や、熊本県の郷土料理や伝統料理を学校給食で紹介する取り組みです。

児童生徒の皆さんに給食を通して、熊本県の郷土料理や伝統料理を知ってもらうことで、自分のふるさとについて興味を持ってもらう目的があります。もちろん、皆さんが食べている宇城市学校給食センターでも毎月取り組んでいます。

宇城産として、4月はいちご、5月はきゅうりとしょうがを給食に取り入れて紹介しました。6月は、なすとアスパラガスが登場します。お楽しみに！

また、ふるさとくまさんデーだけでなく、日ごろから地元産食材の活用を推進しています。



## 毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」 「食べる力」=「生きる力」を育みましょう

「人生100年時代」といわれるようになりました。生涯にわたって、心身ともに健康で生き生きと暮らしていくために、あらゆる世代の人が「食べる力」を身につける必要があります。特に、子どもたちに対しては、健全な心と体を培い、豊かな人間性を育んでいく基礎となる「食育」を、家庭・学校・地域が連携し、推進していくことが重要です。

### 食育とは…

(食育基本法・前文より)

- 生きる上での基本であって、知育・徳育および体育の基礎となるべきもの
- さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

## 食育で育てたい「食べる力」

- 心と身体の健康を維持できる**
- 食事の重要性や楽しさを理解する**
- 食べ物の選択や食事づくりができる**
- 一緒に食べたい人がいる(社会性)**
- 日本の食文化を理解し伝えることができる**
- 食べ物やつくる人への感謝の心**

### こんなことも食育です

- 買い物や料理など、一緒に食事の支度をする
- 家族や仲間と楽しく食卓を囲む
- 地域の郷土料理や行事食を味わう